

自己評価2022 ファーストハンド

	十分	不十分	わからない	意見
1. 利用定員に応じた部屋の大きさが施設基準に応じて十分か？	50%		50%	
2. 職員の配置は、施設基準に応じて適切か？	50%		50%	
3. 必要に応じたバリアフリー化がされているか？	25%	25%	50%	
4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクルについて、職員が理解しているか？	25%	25%	50%	
5. アンケート調査等により保護者の意向を反映した業務改善を行っているか？	25%	25%	50%	
6. 自己評価の結果を公表しているか？	50%	25%	25%	
7. 第三者による外部評価を行ない、業務改善に反映しているか？		25%	75%	
8. 職員の資質向上のための研修の機会を確保しているか？	100%			
9. 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか？	50%	25%	25%	
10. 子どもの評価を行うために、標準化された検査等を使っているか？		25%	75%	・就学相談、特児切り替え時に受けた検査結果を頂き参考にはしている
11. プログラムの作成を複数の職員が関わったチームが行っているか？	75%	25%		
12. プログラムがマンネリ化しない工夫をしているか？	100%			
13. 平日・休日・長期休暇の時期に応じて課題やプログラムを設定しているか？	100%			
14. 子どもの評価結果に応じて、個別活動・集団活動を行っているか？	75%	25%		
15. プログラムの開始前後に職員間で打ち合わせ、振り返りや情報交換を行っているか？	100%			
16. 必要な事項を記録し、支援内容の改善につなげているか？	50%	50%		・人により記録の徹底度が異なる
17. 定期的に子どもたちの様子について情報交換をした上で、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか？	100%			
18. ガイドラインに記載されている「基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか？	50%		50%	
19. 相談支援事業所の担当者会議に、その子どもの状況を把握している者が参加しているか？	75%	25%		
20. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等・下校時刻の確認等）を行っているか？	67%	33%		・保護者から情報を頂いている。
21. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業書等からの情報収集等を行っているか？	50%	50%		・トークス利用児は情報を頂いている
22. 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか？	25%	50%	25%	
23. 放課後児童クラブなどとの交流など、障害がない子どもと活動する機会があるか？	25%	75%		
24. 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか？	25%	50%	25%	
25. 子どもの状況を日常的に保護者と情報交換し、発達の状況や課題について共通理解を持っているか？	100%			・保護者へのST個別申し送り方法について要検討
26. 保護者の対応力向上を図るために、保護者に対してペアレントトレーニング、ペアレントプログラムなどの支援を実施しているか？		75%	25%	
27. 学校を卒業し、児童のサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報提供をしているか？			100%	・現在、小学生までしか在籍していないので必要がない。
28. 運営規程・支援の内容・利用者負担等について、ていねいに説明しているか？	75%	25%		
29. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言や他機関への紹介を含む支援を行っているか？	75%		25%	
30. 父母の会の活動を支援したり、保護者会を組織するなど、保護者同士の連携をするために手助けをしているか？		75%	25%	
31. 子どもや保護者からの苦情に対応するための体制を整備をし、それを周知しているか。さらに実際に苦情があった場合に迅速に対応しているか？	50%	25%	25%	
32. ホームページへの掲載等により、活動概要等の情報を発信しているか？	25%	75%		
33. 個人情報に対して、十分かつ厳密に扱っているか？	100%			
34. コミュニケーション能力が不十分な子どもに対して、意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	67%		33%	・配慮はしているが十分かはわからない
35. 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	100%			
36. 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか？		100%		・行事がない
37. 緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しているか？	25%	75%		・作成対応ができていない。その担当が曖昧なためと思われる。
38. 災害の発生に備え、定期的避難・救出などの訓練を行っているか？		100%		・作成対応ができていない。その担当が曖昧なためと思われる。
39. 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保したり、虐待防止委員会を組織しているか？	75%		25%	
40. 身体拘束が必要ときに、組織としてそれを決定し、保護者等に説明し、同意を得た上で、個別支援計画に記載しているか？		25%	75%	・拘束される子がいない
41. アレルギーがある子どもについて医師の指示に応じた対応をしているか？	75%	25%		・医師では無く保護者からの指示で対応している ・保護者と連携している。おやつなど気をつけている。
42. ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で情報共有しているか？	50%	25%	25%	・作成していない
43. 上記の他、施設・法人について何か気になること、改善点があれば記入して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を取って言語聴覚士への相談を出来る場が定期的であれば尚良いと考える ・口に出して、決めた事を飽きずに継続できるような働き方を考えて欲しい。 ・流動的になりすぎないように考えて欲しい。 			

自己評価2022 ファーストハンドHi!

	十分	不十分	わからない	意見
1. 利用定員に応じた部屋の大きさが施設基準に応じて十分か?	100%			
2. 職員の配置は、施設基準に応じて適切か?	100%			
3. 必要に応じたバリアフリー化がされているか?	75%		25%	
4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクルについて、職員が理解しているか?		25%	75%	・計画→行動→評価→改善の流れを少しずつ意識はしているが、計画が遅れているため十分な検討ができていない。
5. アンケート調査等により保護者の意向を反映した業務改善を行っているか?	75%	25%		・ご意見はスタッフ間で共有しているが、個別の解決に留まってしまう事もある
6. 自己評価の結果を公表しているか?	75%		25%	
7. 第三者による外部評価を行ない、業務改善に反映しているか?		33%	67%	・行っていない
8. 職員の資質向上のための研修の機会を確保しているか?	75%		25%	・必要な研修は受けていると思うし現状の中でもっと研修に出るのは時間的にきついところもある。しかし、支援する上でわからないことはまだまだあるので、良い機会があれば今後も積極的に出たいと思う。
9. 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか?	50%	25%	25%	・時間がかけられず、検討不十分な計画になりがち。
10. 子どもの評価を行うために、標準化された検査等を使っているか?	33%		67%	・発達検査の結果は預かり、参考にしている。
11. プログラムの作成を複数の職員が関わったチームが行っているか?	50%	50%		・出来るだけ共有しようとしているが、十分に話し合う時間は取れていない。 ・個々のスタッフで決めることが多い
12. プログラムがマンネリ化しない工夫をしているか?	25%	75%		・意識はしているが、十分に検討できているとは言えない。 ・今のところ勉強、グループの順になっている。休みのグループはサッカーが基本となっている。平日のグループはマンネリ化している。～でもやっというて、等。
13. 平日・休日・長期休暇の時期に応じて課題やプログラムを設定しているか?	50%	25%	25%	・目的を意識し、十分に検討できているとは言えない。 ・皆で子どもの課題について話せず、ほぼ担当制になり、意見を言いづらい。意見をすると担当以外の人が口を出すと感情的になる、との意見も。
14. 子どもの評価結果に応じて、個別活動・集団活動を行っているか?	50%	25%	25%	・個別に目標を意識し、プログラムを考えているが、まだまだ検討の余地がある。 ・私を含め、個別活動、集団活動ともに、忙しいからこれやっというて、となるケースが多い。
15. プログラムの開始前後に職員間で打ち合わせ、振り返りや情報交換を行っているか?	50%		50%	・行っているが、十分にできているかどうかはわからない。 ・十分にできているとは言えない。
16. 必要な事項を記録し、支援内容の改善につなげているか?	50%	25%	25%	・記録の書き方についてもまだ勉強の余地がある ・スタッフ個々で改善点を考える、で終わるケースが多い。
17. 定期的に子どもたちの様子について情報交換をした上で、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか?	75%	25%		・半年ごとに見直しを行っているが、遅れがちになっている
18. ガイドラインに記載されている「基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか?		25%	75%	・地域交流については、どういう形が考えられるのか模索中である ・成功体験の積み増しを促し、自己肯定感をあげるような遊びの対象かが限定的な子どもになっている。 学校と連携がとれているとは言い難い。創作活動はほぼ行っていない。地域交流は限定的。多彩なプログラム活動ではない。支援の質をあげるような意見が出づらい。
19. 相談支援事業所の担当者会議に、その子どもの状況を把握している者が参加しているか?	75%		25%	
20. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等・下校時刻の確認等）を行っているか?	25%	25%	50%	・主に保護者を通して行っているが、コロナの影響で変更も多く十分にはできていない。 ・学校ではなく、親御さんが中心。
21. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業書等からの情報収集等を行っているか?	25%	25%	50%	・学校との情報共有は十分ではない
22. 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか?			100%	
23. 放課後児童クラブなどとの交流など、障害がない子どもと活動する機会があるか?		100%		・「交流」の方法についてはまだちゃんと考えていない
24. 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか?	25%	25%	50%	・いつ会議が行われ、どの様に参加できるかわからない。また出られない時間帯に開催されることも多い
25. 子どもの状況を日常的に保護者と情報交換し、発達の状況や課題について共通理解を持っているか?	50%	25%	25%	・送迎など機会をとらえて情報共有するよう努力中である。

26. 保護者の対応力向上を図るために、保護者に対してペアレントトレーニング、ペアレントプログラムなどの支援を実施しているか？		50%	50%	
27. 学校を卒業し、児童のサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報提供をしているか？	25%	25%	50%	・進路がわからない、など情報提供する機会がない。
28. 運営規程・支援の内容・利用者負担等について、ていねいに説明しているか？	50%		50%	・心がけているが十分にできているかどうかわからない
29. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言や他機関への紹介を含む支援を行っているか？	50%	25%	25%	・ご相談があればできることについてお話ししたり関係機関に声をかけたりしているが、本当にニーズに応えられているかわからない。
30. 父母の会の活動を支援したり、保護者会を組織するなど、保護者同士の連携をするために手助けをしているか？		33%	67%	・特に行っていない。
31. 子どもや保護者からの苦情に対応するための体制を整備をし、それを周知しているか。さらに実際に苦情があった場合に迅速に対応しているか？	100%			・ご意見に対しては、スタッフ全体で検討し、できる限り素早く対応する様努力している
32. ホームページへの掲載等により、活動概要等の情報を発信しているか？	50%	25%	25%	・Facebookの更新は十分ではない
33. 個人情報に対して、十分かつ厳密に扱っているか？	50%		50%	
34. コミュニケーション能力が不十分な子どもに対して、意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	25%		75%	・大人の一方的な意思疎通の方法になることがある
35. 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	75%		25%	
36. 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか？		33%	67%	・地域との「交流」の方法については、今のところ見つけられていない。
37. 緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しているか？		100%		・保護者にマニュアルの説明をしたことがない ・聞いたことはあるが、マニュアルは見たことがない。
38. 災害の発生に備え、定期的に避難・救出などの訓練を行っているか？	25%	25%	50%	・一年で週の決まった曜日一日だけとなっている。
39. 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保したり、虐待防止委員会を組織しているか？		50%	50%	・研修の機会は逃さず受けているが、虐待防止委員会はない。
40. 身体拘束が必要なときに、組織としてそれを決定し、保護者等に説明し、同意を得た上で、個別支援計画に記載しているか？	25%		75%	・今まで身体拘束を計画に記載する必要のある子
41. アレルギーがある子どもについて医師の指示に応じた対応をしているか？	50%	25%	25%	・保護者からの情報をもとに対応している。 ・アトピーの子どもに対し、私は適切な対応を知らない。
42. ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で情報共有しているか？	75%	25%		・ヒヤリハット事例集はない
43. 上記の他、施設・法人について何か気になること、改善点があれば記入して下さい				

自己評価2022 ウィズトークス

	十分	不十分	わからない	意見
1. 利用定員に応じた部屋の大きさが施設基準に応じて十分か？	80%		20%	
2. 職員の配置は、施設基準に応じて適切か？	60%		40%	
3. 必要に応じたバリアフリー化がされているか？	60%	20%	20%	
4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクルについて、職員が理解しているか？	40%		60%	
5. アンケート調査等により保護者の意向を反映した業務改善を行っているか？	20%	40%	40%	・保護者との交流等、実現に至っていないものがある ・アンケートの振り返り等を行っていない
6. 自己評価の結果を公表しているか？	80%		20%	・ホームページ上で確認出来る
7. 第三者による外部評価を行ない、業務改善に反映しているか？	20%	20%	60%	・外部評価の実態を把握していない
8. 職員の資質向上のための研修の機会を確保しているか？	80%		20%	・機会は充分だが必要なものを必要なスタッフに割り振り出来ているかは不明
9. 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか？	60%		40%	
10. 子どもの評価を行うために、標準化された検査等を使っているか？	60%	20%	20%	・時間的に実施が困難な面があると感じている
11. プログラムの作成を複数の職員が関わったチームが行っているか？	25%	25%	50%	・個々が作成することもある ・個別指導のため、該当しない
12. プログラムがマンネリ化しない工夫をしているか？	80%		20%	
13. 平日・休日・長期休暇の時期に応じて課題やプログラムを設定しているか？	33%	33%	33%	・時期に関わらず一定の指導を展開している ・個別指導のため、該当しない
14. 子どもの評価結果に応じて、個別活動・集団活動を行っているか？	67%		33%	
15. プログラムの開始前後に職員間で打ち合わせ、振り返りや情報交換を行っているか？	33%	67%		・個別指導のため、該当しない
16. 必要な事項を記録し、支援内容の改善につなげているか？	80%	20%		・記録の徹底に心掛けている
17. 定期的に子どもたちの様子について情報交換をした上で、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか？	60%	20%	20%	
18. ガイドラインに記載されている「基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか？	50%		50%	・個別指導のため、該当しない
19. 相談支援事業所の担当者会議に、その子どもの状況を把握している者が参加しているか？	80%	20%		
20. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等・下校時刻の確認等）を行っているか？		75%	25%	
21. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業書等からの情報収集等を行っているか？		33%	67%	・就学前のお子さんがメインのため、該当しない
22. 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか？	20%	20%	60%	
23. 放課後児童クラブなどとの交流など、障害がない子どもと活動する機会があるか？		50%	50%	・個別指導のため、該当しない
24. 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか？	33%	33%	33%	
25. 子どもの状況を日常的に保護者と情報交換し、発達の状況や課題について共通理解を持っているか？	60%	20%	20%	
26. 保護者の対応力向上を図るために、保護者に対してペアレントトレーニング、ペアレントプログラムなどの支援を実施しているか？		75%	25%	
27. 学校を卒業し、児童のサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報提供をしているか？	33%	33%	33%	・該当者がいない
28. 運営規程・支援の内容・利用者負担等について、ていねいに説明しているか？	80%		20%	
29. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言や他機関への紹介を含む支援を行っているか？	60%	20%	20%	
30. 父母の会の活動を支援したり、保護者会を組織するなど、保護者同士の連携をするために手助けをしているか？		67%	33%	
31. 子どもや保護者からの苦情に対応するための体制を整備をし、それを周知しているか。さらに実際に苦情があった場合に迅速に対応しているか？	60%		40%	
32. ホームページへの掲載等により、活動概要等の情報を発信しているか？	25%	50%	25%	
33. 個人情報に対して、十分かつ厳密に扱っているか？	80%		20%	
34. コミュニケーション能力が不十分な子どもに対して、意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	80%		20%	
35. 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか？	60%		40%	
36. 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか？		67%	33%	・個別指導のため、該当しない
37. 緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しているか？		80%	20%	
38. 災害の発生に備え、定期的に避難・救出などの訓練を行っているか？		80%	20%	
39. 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保したり、虐待防止委員会を組織しているか？	60%	20%	20%	
40. 身体拘束が必要なときに、組織としてそれを決定し、保護者等に説明し、同意を得た上で、個別支援計画に記載しているか？	33%	33%	33%	・該当者がいない
41. アレルギーがある子どもについて医師の指示に応じた対応をしているか？	67%		33%	・該当者がいない
42. ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で情報共有しているか？		80%	20%	
43. 上記の他、施設・法人について何か気になること、改善点があれば記入して下さい				